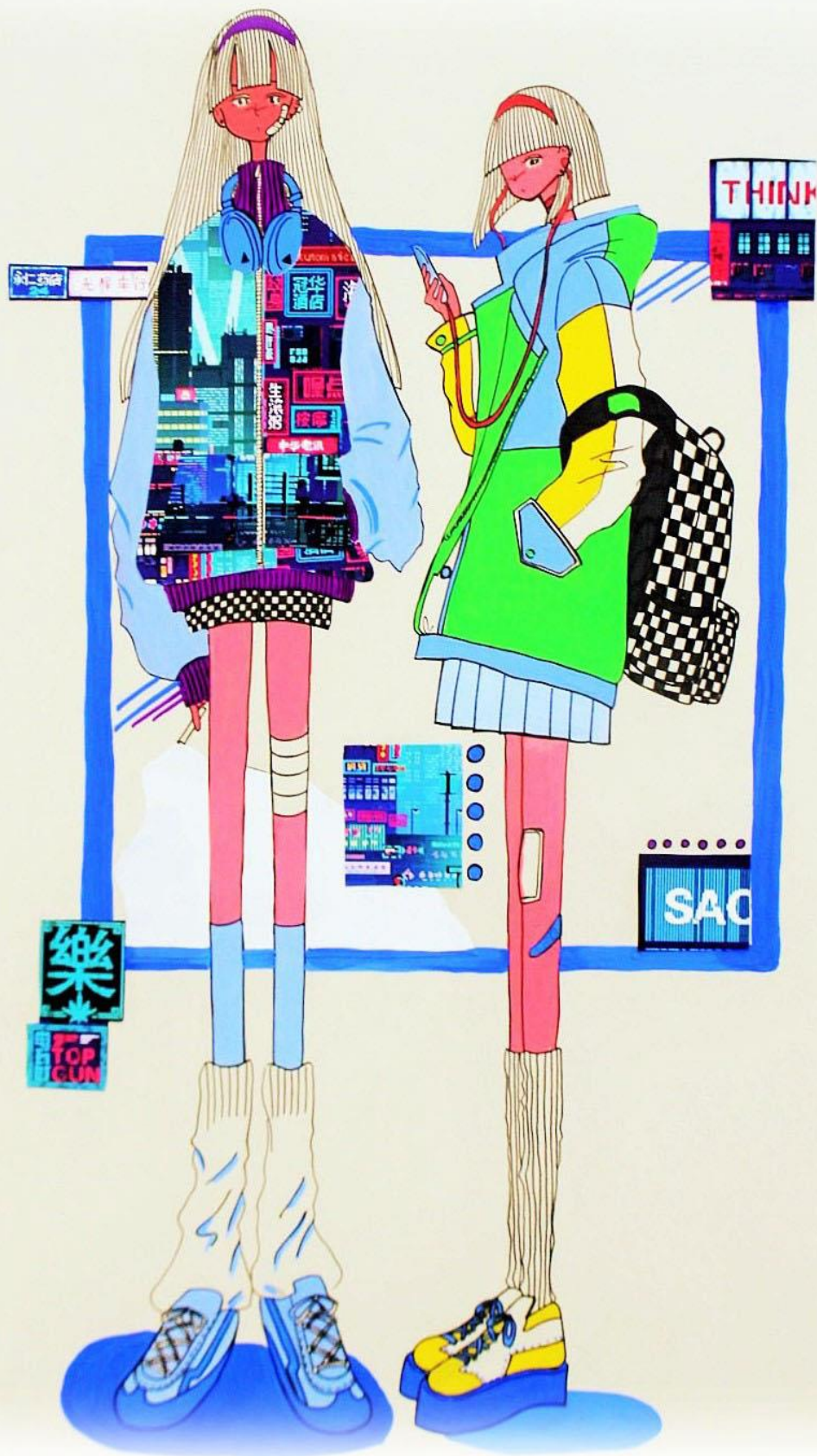


ファッション文化科のあゆみ 第61号



ファッション文化科のあゆみ

もくじ

- 1 ファッション文化科の沿革・目標
- 2-3 ファッションショー写真集
- 4 平成31年度入学者用教育課程表・コース制紹介
- 5-6 専門科目の教材内容等について
- 7 インターンシップ・キャリアプラン研修
- 8 製作作品をコーディネート
- 9 第69回ファッションショー・学校見学会
- 10-11 コンテスト・コンクール 受賞作品
- 12 令和元年度の行事
- 13 家庭クラブ活動
- 14-15 校外行事
- 16 技術検定及びその他の資格取得状況・表彰
- 17 令和元年度卒業生の進路
- 18 外部専門講師による特別講座
- 19 専門科目外部専門講師紹介
- 20 むすび



デザイン画 3年 中村 美海
表紙 3年 寺澤 美波

ファッション文化科の沿革

昭和24年度	学区制完全実施により普通課程、商業課程、家庭課程の総合高等学校となる
29年度	文部省産業教育研究指定家庭技芸発表会と併せて、第1回作品ショーが開催される
31年度	新1年生の夏制服250着を縫製、大量生産実習として昭和63年度まで継続される
38年度	教育課程改訂により家庭課程から被服科と改称される
50年度	家庭クラブ奉仕活動として、セーラー服製作の残り布で製作した手提げ袋を南区の高齢者へ贈呈
平成 2年度	第三棟にCAD室完成。全国に先駆けてコンピューターを利用した専門教育を始める
8年度	新教育課程完成年度により、学科名が被服科からファッション文化科へ改称される
10年度	本学科の代表行事である「作品ショー」を、「ファッションショー」へ名称変更する
24年度	新カリキュラムにおいてコース制が導入される(クリエイティブコース・デザインメディアコース)

ファッション文化科の目標

桜台高等学校ファッション文化科は、高い教養と専門知識・技術を習得して、新しい時代に即応できる創造力・実践力を養い、スペシャリストとしての適正能力をつけることを目標としている。

- ① 基礎的教養はもちろんのこと、ファッションに関する分野の専門的知識・技術を習得する。
- ② 将来のスペシャリストに必要な資質を育成し、幅広い人間としての完成を目指す。



